

2017 年 9 月 20 日

総務大臣 野田 聖子 様

〒162-0066 新宿区市谷台町 14-5 MSビル市ヶ谷台 1 階

Tel 03-3225-5600 Fax 03-3354-0046

一般社団法人 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会

理事長 新谷 友良



中途失聴・難聴者への Jアラート伝達についての要望

日頃より中途失聴・難聴者へのご理解・ご支援をいただき、お礼申し上げます。

早速ですが、2017 年 9 月 15 日 7 時ごろ、政府から Jアラート（全国瞬時警報システム）が発令されました。

命に係わる非常事態であり、私たちのような聞こえない・聞こえにくい者にも発令と同時に正確な情報が必要ですが、伝わりにくい状況にありました。

万が一の事態では、情報が得られないことが生命や安全に直結します。

については以下の通り要望いたします。

記

1 緊急時にも中途失聴・難聴者にテレビ字幕等で伝達できる体制を望みます

日本放送協会および民放の在京キー 5 局の事業者各位のテレビ画面で Jアラート発令の画面が表示されました。緊急伝達にテレビは有効ですが、その状況は各局まちまちでした。

民放の在京キー 5 局では、Jアラート発令画面を表示し、説明のキャプションがつくところもありましたが、分単位のみサイルの位置、時々刻々と変わる状況をアナウンサーが伝えている内容が伝わりません。

NHK 総合では、生放送の字幕付与時間帯であったこともあり、字幕がついていて大いに助かりました。他の局には字幕がなかったため、なおさらです。

ですが字幕のつかない時間帯であったらどうだったか、と思わざるをえません。また、民放の在京キー 5 局以外の事業者はさらに対応が困難な状況にあると思われます。

緊急時にも中途失聴・難聴者を排除せず、常時字幕等の伝達対応できる体制を望みます。

2 緊急災害時に、認定特定非営利活動法人障害者放送通信機構（旧名称：CS 障害者放送統一機構）等に対し、ローカル番組を含むニュース、その他の必要な情報を速やかに提供してください。

以 上